

## 福祉サービス第三者評価結果報告書【令和4年度】

年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構  
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 162-0825

所在地 東京都新宿区神楽坂2-4 結城ビル4F

評価機関名 特定非営利活動法人 NPO人材開発機構

認証評価機関番号

機構 02 - 005

電話番号 03-5206-7831

代表者氏名 理事長 水谷 正夫



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	水谷 正夫	福祉、経営	H0402001
	②	安富 悠子	福祉	H0602001
	③	大内 和史	経営	H1401003
	④	草野 澄江	福祉	H0202082
	⑤	島田 明美	福祉	H2001033
	⑥			
福祉サービス種別	児童発達支援センター			
評価対象事業所名称	江東区こども発達扇橋センター			指定番号 1350800304
事業所連絡先	〒	135-0011		
	所在地	東京都江東区扇橋3-7-2江東区障害者福祉センター1階		
	TEL	03-3648-3760		
事業所代表者氏名	河合 真紀子			
契約日	2022年 9月 29日			
利用者調査票配付日(実施日)	2022年 12月 2日			
利用者調査結果報告日	2023年 2月 17日			
自己評価の調査票配付日	2022年 11月 24日			
自己評価結果報告日	2023年 2月 17日			
訪問調査日	2023年 3月 15日			
評価合議日	2023年 3月 25日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	利用者調査にあたっては、保護者会で第三者評価の趣旨・目的と調査票を説明し、協力を求めた。調査にあたっては、通園時に保護者に手渡したり、郵送で調査票を送ることで全員へ配布した。外国籍の利用者には、母国語の調査票を作成し配布した。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

本報告書の内容のうち、  
○ 機構が定める部分を公表することに同意します。 ○ 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。 ○ 別添の理由書により、公表には同意しません。

2023年 3月

31日

事業者代表者氏名



1/25

1	<b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b>
	<p>事業者が大切にしている考え方(事業者の理念・ビジョン・使命など)のうち、特に重要なものの(上位5つ程度)を簡潔に記述 (関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定)</p> <p>&lt;理念&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1)一人のこどもとして生きる・生活する権利を尊重し、合理的配慮に基づいた支援であること。</li> <li>2)一人ひとりのニーズに合わせた、ライフステージを見通した発達支援であること。</li> <li>3)こどもを養育する家族の意向を尊重し、家族を支える支援であること。</li> <li>4)こども・家族は地域と繋がり、地域の中で相互に貢献し合える様に支援すること。</li> <li>5)職員は、本人・家族・地域の支援をとおし謙虚に豊かな人間性を養い、支援に還元すること。</li> </ul> <p>&lt;サービス提供の考え方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独自のニーズ調査表の実施により詳細な現状把握・支援経過を把握し本人・家族連携に努める。</li> <li>・一人ひとりの丁寧なアセスメントに基づいた支援計画作成し、実施時のプログラム作成、記録、振返り行う日々のPDCAサイクル、1・3ヶ月クラス振り返り、6ヶ月のケース会議を行う。</li> <li>・年長児・緊急時の家庭連携支援の中で、機関訪問支援を実施し地域連携に努める。</li> </ul>
2	<b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b>
	<p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己肯定感を持ち、業務に対し使命感、意欲、積極性を持ち、自立的に関わる。</li> <li>・他者への思いやり、養護性を持ち、コミュニケーションに努める姿勢を持つ。</li> <li>・各々の専門資格に基づきながら、配属部署や委員会の業務を理解し、各々の施設並びに法人の一員としての自己の役割に努める。</li> </ul> <p>(2)職員に期待すること(職員に持つべき使命感)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者、保護者への謙虚な傾聴姿勢、自己の行動を振り返る姿勢。</li> <li>・同じ志を持つ者として職員同士がコミュニケーションを図り、学び合い、助け合う。</li> <li>・日頃の業務や研修をとおして、業務への興味・関心や、自己の専門性の向上心を養う。</li> <li>・業務を通して企画力、構成力、宣伝力などの様々な運営の力を育て業務の役割分担の適正化を図る。</li> </ul>

## 調査対象

調査時点での現員数は288名、男児226名、女児62名を対象とした。一日支援50名、半日支援182名、低年齢児支援56名となっている。

## 調査方法

保護者に通園時に調査票を手渡したり、郵送した。回収は評価機関に返信していただいた。

## 利用者総数

288

## 利用者家族総数(世帯)

288

## 共通評価項目による調査対象者数

288

## 共通評価項目による調査の有効回答者数

153

## 利用者家族総数に対する回答者割合(%)

53.1

## 利用者調査全体のコメント

「江東区こども発達扇橋センター」に対する総合的満足度を質問したところ、「大変満足」71名(46%)「満足」68名(44%)「どちらともいえない」11名(7%)「不満」は3名(2%)の回答であった。満足群は139名で全体の91%を占めている。「職員の言葉遣いや態度、服装は適切」「職員が子どもの気持ちを大切にしながら対応」「支援に関する計画を作成したり見直しをする際に子どもや家族の状況や要望を聞いてくれる」などの質問では満足度が高かった。一方、「困った時に職員以外の人に相談できることをわかりやすく伝えている」「子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できる」などの質問では満足度は高いとはいえないかった。コメントでは、「子どもの成長を客観的に教えてもらったり、悩んでいることに真摯に対応してもらい感謝している」「テーマを決めて子どもに遊びを教えていて、ルールや社会性が身につくと感心している」「専門知識や経験を基に子どもとの接し方をアドバイスしてくれるので、とても頼りになる」などのコメントがあがっている。また、「通園日を多く通えるように職員や場所など拡大してほしい」といった声も聞かれた。

## 利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 事業所に通うことが、子どもの身体の機能や健康の維持・促進の役に立っているか	138	13	2	0
「江東区こども発達扇橋センターに通うことが、お子さんの身体機能や健康状態に良い影響を与えてると思いますか」との質問に、138名(90%)から「はい」の回答が得られた。「どちらともいえない」に13名(8%)、「いいえ」には1名(1%)の回答があった。「自分の気持ちを助けてくれる先生のいる場所と認識して、とても安心して通っている」「良い刺激になり、できることが増えた気がする」「体を動かすことや、いろんな活動(療育プログラム)を毎週することで良い影響があると思う」などのコメントがあがっている。				
2. 事業所での活動は、子どもが興味や関心を持つるものになっているか	140	12	1	0
「江東区こども発達扇橋センターでの活動は、お子さんが興味や関心を持つものになっていると思いますか」との質問に、140名(92%)から「はい」の回答が得られた。「どちらともいえない」に12名(8%)、「いいえ」には1名(1%)の回答があった。「子どものレベルに合わせて、生活や勉強を進めてくれるので非常にありがたい」「興味関心が広がった」「歌やその他療育でやっていることを家でもする等、本人にとって興味や関心を持って身につけられてると思う」「毎回とても楽しみに通っている」などのコメントがあがっている。				
3. 事業所に通うことが、子どもの情緒面での発達(感情のコントロールを身につける等)の役に立っているか	119	29	4	1
「江東区こども発達扇橋センターに通うことが、お子さんの情緒面での発達(感情のコントロールを身につける等)の役に立っていると思いますか」との質問に、119名(78%)から「はい」の回答が得られた。「どちらともいえない」に29名(19%)、「いいえ」には4名(3%)の回答があった。「個人面談で課題を毎回整理しアドバイスをいただき、家庭でも実践している効果も大きい。面談でのアドバイスはとても役立っている」「集団で決まったことをやる等、自分の気持ちを抑える練習ができるいると思う」などのコメントがあがっている。				

4. 事業所に通うことで、子どもに社会性(人と人との関わり合いやルール等)が身についているか	119	29	4	1
「江東区こども発達扇橋センターに通うことで、お子さんに社会性(人と人との関わり合いやルール等)が身についてきたと思いますか」との質問に、119名(78%)から「はい」の回答が得られた。「どちらともいえない」に29名(19%)、「いいえ」には4名(3%)の回答があった。「個別の勉強を2人1組でやることにより、相手の存在を意識できるようになった」「周りの友達の様子を見て、何をする時間かわかったりしている」「少人数でいろいろな活動に一緒に取り組むことで、友達を意識するようになった」などのコメントがあがっている。				
5. 子どもの様子や支援内容(体調変化時の対応含む)について、事業所と情報共有できているか	140	10	3	0
「お子さんの様子や、支援の内容(体調変化時の対応含む)について、江東区こども発達扇橋センターと情報共有できていますか」との質問に、140名(92%)から「はい」の回答が得られた。「どちらともいえない」に10名(7%)、「いいえ」には3名(2%)の回答があがった。「帰りに先生が各々様子を伝えてくれるのでありがたい。連絡帳にも詳しい記載がある」などのコメントがあがっている。また、「情報共有の機会はあるが、情報が少なすぎる」「フィードバック時に、(あとで連絡する)と言われても連絡がない」などの声も聞かれた。				
6. 家族に対する精神的なサポート(子育てに関する悩み相談や進路相談、家族間交流の機会の提供等)は役に立っているか	122	23	5	3
「家族に対する精神的なサポート(子育てに関する悩み相談や進路相談、家族間交流の機会の提供等)は役に立っていると思いますか」との質問に、122名(80%)から「はい」の回答が得られた。「どちらともいえない」に23名(15%)、「いいえ」には5名(3%)の回答があがった。「心の相談室があったり、面談時に話を聞いてもらったりして助かっている」「面談をこまめにやってくれて、その時思っていることなど相談できている」などのコメントがあがっている。また、「父母会の活動は少なく、家族間交流の機会は少ない」などの声も聞かれた。				
7. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	120	27	5	1
「あなたは、江東区こども発達扇橋センターの生活スペースは清潔で整理された空間になっていると思いますか」との質問に、120名(78%)から「はい」の回答が得られた。「どちらともいえない」に27名(18%)、「いいえ」には5名(3%)の回答があがった。「古くて手狭なため、綺麗で広いとは思えないが、職員が清掃や片づけをしっかりやっている」「清潔感はあります」などのコメントがあがっている。また、「部屋が少なく、発達検査をするのに物が沢山ある静養室や、気が散りやすい遊戯室を利用している」などの声も聞かれた。				
8. 職員の接遇・態度は適切か	145	6	1	1
「あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などが適切だと思いますか」との質問に、145名(95%)から「はい」の回答が得られた。「どちらともいえない」に6名(4%)、「いいえ」には1名(1%)の回答があがった。「丁寧で優しい先生が多く、毎回良い印象を受けます」「バスの運転手さんと案内の方、とても優しい」などのコメントがあがっている。また、「職員によっては適切ではない人もいると思う」「職員の言葉遣い、態度に疑問を感じる場面が何度かあった」などの声も聞かれた。				
9. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	123	6	1	23
「お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか」との質問に、123名(80%)から「はい」の回答が得られた。「どちらともいえない」に6名(4%)、「いいえ」には1名(1%)の回答があがった。「運動中に子ども同士でぶつかった時、すぐに子どもに声をかけ、親にも状況を説明してくれた」「看護師の先生が詳しく伝えてくれるので安心できるし、対応について相談できる」「体調に関わることで変化が見られた時に電話があり、迅速な対応、その後のケアもしっかりしていると思う」などのコメントがあがっている。				
10. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	112	20	0	21
「あなたは、子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか」との質問に、112名(73%)から「はい」の回答が得られた。「どちらともいえない」に20名(13%)の回答があがった。「特にケンカなどは起きていないが、信頼できる先生方の対応なら問題ないと思っている」「100%信頼できる」「細やかな気配りのおかげで、いさかい自体の体験がない」「その場を見たことないのでわからない」などのコメントがあがっている。				

11. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	144	8	0	1
「あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか」との質問に、144名(94%)から「はい」の回答が得られた。「どちらともいえない」に8名(5%)の回答があった。「とてもよく見てくれ、いつも笑顔で接してくれる。かんしゃくや泣いている時の対応もすごく上手だと思う」「数回しか行ってないが、面談などで話すと子どものことをよく見てくれていることが伝わる」などのコメントがあがっている。また、「言葉遣いのきつい職員もいる」などの声も聞かれた。				
12. 子どものプライバシーは守られているか	132	11	1	9
「お子さんやご家族のプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を職員は守ってくれていると思いますか」との質問に、132名(86%)から「はい」の回答が得られた。「どちらともいえない」に11名(7%)、「いいえ」には1名(1%)の回答があった。「問題なく守ってくれると思う」「時々廊下で面談している他の親御さんの深刻な話が聞こえてくるので、聞こえてよいのか気になることはある」などのコメントがあがっている。また、「他者のファイルが見えてしまうことがある」などの声も聞かれた。				
13. 個別の計画作成時に、子どもや家族の状況や要望を聞かれているか	141	10	0	2
「お子さんの支援に関する計画を作成したり見直しをする際に、江東区こども発達扇橋センターはお子さんやご家族の状況や要望を聞いてくれますか」との質問に、141名(92%)から「はい」の回答が得られた。「どちらともいえない」に10名(7%)の回答があった。「いつもニーズを細やかにヒアリングしてくれている」などのコメントがあがっている。また、「計画書に記載した希望に沿って作成してくれるが、計画書については説明もなく、サインだけ求められる」「具体的なアドバイス(家庭での声かけなど)がない」などの声も聞かれた。				
14. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	139	10	3	1
「お子さんの計画やサービス内容など、江東区こども発達扇橋センターでの生活についての説明は、わかりやすいと思いますか」との質問に、139名(91%)から「はい」の回答が得られた。「どちらともいえない」に10名(7%)、「いいえ」には3名(2%)の回答があった。「面談で計画をしっかり説明してくれる」「分からないうちに優しく簡単に説明してくれる」「要望書を出して反映されているが、専門的な視点で達成する順序やどのように達成するか、もっと知りたいです」などのコメントがあがっている。				
15. 利用者の不満や要望は対応されているか	117	17	2	17
「あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか」との質問に、117名(76%)から「はい」の回答が得られた。「どちらともいえない」に17名(11%)、「いいえ」には2名(1%)の回答があった。「面談等で要望を伝えると、ちゃんと対応してくれる」「心配なことを相談した際も、納得するまで話を聞いてくれ、対処法などを提案してくれた」「親身になって、とてもよく対応してくれる」などのコメントがあがっている。また、「要望を伝える機会が少ないと思う」などの声も聞かれた。				
16. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	97	25	8	23
「あなたが困ったときに、職員以外の人(役所や第三者委員など)にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか」との質問に、97名(63%)から「はい」の回答が得られた。「どちらともいえない」に25名(16%)、「いいえ」には8名(5%)の回答があった。「特に困ったことがなかった」「初回の説明会で聞いたような気がしますが、忘れていました」「友人の子も発達に遅れがあり、地域の支援センターについて調べて案内してくれた」などのコメントがあがっている。また、「伝えられたことはない」などの声も聞かれた。				

## I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
1	カテゴリー1	
	リーダーシップと意思決定	
サブカテゴリー1(1-1)		
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している		
評点(○○)		
評価		標準項目
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		
評点(○○)		
評価		標準項目
●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		
評点(○○○)		
評価		標準項目
●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー1の講評		
法人理念「一人ひとりを大切に」に基づき、児童発達支援センター事業を推進している 江東区こども発達扇橋センター(以下センター)は、2008年こども発達センターの分室として開設され、2014年児童発達支援事業はセンター化され、併せて、特定・障害児相談支援事業と(区)相談事業を営んでいる。特定非営利活動法人・こどもの発達療育研究所(以下法人)の理念「一人ひとりを大切に」に基づき、「一人の子どもとして生きる・生活する権利を尊重し、合理的配慮に基づいた支援である事。一人ひとりのニーズに合わせた、ライフステージを見通した発達支援である事」等を運営方針に掲げて、区の指定管理者として活動している。		
管理職は「子どもが楽しく通えるように、職員が働き易いように」を基本に運営している 年度の初めの法人始業式では、法人の理念・目的・沿革等の説明と組織図及び事業運営方針の説明がある。続いて、施設毎の職員研修では、事業の基本・倫理綱領・行動規範等の説明に加えて、委員会の係決めが行われる。児童発達支援センター事業は、低年齢児グループ1クラス、一日支援コース2クラス、半日支援コース1クラスの計4クラスで、管理職は、クラス単位にリーダーを配置し、日常的にはリーダーを中心に話し合うようにし「子どもが楽しく通えるように、職員が働き易いように関係作りを大切にする」を基本に、センターの運営に取り組んでいる。		
代表者会議で重要案件を審議・決定し、朝礼・終礼で職員に伝え意思確認をしている 新型コロナの影響で職員全体が集まる機会が減ったため、各クラスのリーダーと事業部門の代表者及び主任・管理による代表者会議で、コロナ関係・通園形態の変更・支援に係る決定などの重要案件を審議し決定している。決定事項は、朝礼・終礼で職員に伝えて意思確認を行っており、口頭では忘れる恐れのある案件は、「事業連絡用紙」を使って関係部門に渡すようにしている。保護者には、保護者会で「こども発達センター事業の計画と報告、センターの移転計画」等の報告の他、ミニ勉強会でペアレントトレーニングについて学ぶ等で、保護者を支援している。		

	カテゴリー2	
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行	
	サブカテゴリー1(2-1)	
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6／6
評価項目1	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	
	評価	標準項目
(●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
(●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
(●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
(●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
(●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
(●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
	サブカテゴリー2(2-2)	
	実践的な計画策定に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5／5
評価項目1	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している	
	評点(○○○)	
評価	標準項目	
(●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
(●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
(●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2	着実な計画の実行に取り組んでいる	
	評点(○○)	
評価	標準項目	
(●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
(●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
重要課題は、両センターの管理職同士で話し合い、区の予算も考慮して抽出している 利用者の意向は、年1回の「保護者の事業評価アンケート」で、行事への参加や保護者会等の要望は、家族連絡用スマホアプリを利用して収集している。また、保護者からの意見を拾う「あなたの声」ボックスも廊下に設置している。職員の意向は、園長が「職員自己目標」の面談で意見を把握している。地域の福祉ニーズは、区のアンケートで幼稚園・保育園の先生からセンターとの連携を深めたいとの要望が多く、園長は地域に出向いていく事が必要と考えている。重要課題は、両センターの管理職同士で話し合い、区の予算も考慮して抽出している。		
事業計画は施設運営方針に加え指定管理者として求められる取り組みを元に作成している センターは区の指定管理者であるので、区の障害者計画及び子ども子育て支援計画を中期計画として位置付けている。事業計画は、施設運営方針・目標等について、両センターの管理・主任で方針を立て、区の指定管理者として求められている「事業方針及び施設の管理運営体制、人材の確保育成、環境保全、安全管理・危機管理」等に対する取り組みについて作成している。数年前に、在籍児童数を大幅に拡大したが、それでも利用希望者が増えており、療育スペースと定員の拡大を図る事を目的に移転場所を検討してきた結果、場所が決まりその準備に入っている。		
月次・年度単位の報告はあるが、「職員の業務改善」等の進捗管理の検討が期待される センターは、年度末に翌年度の事業計画を、年度終了後に事業報告書を、区に提出する事になっており、月次でも各事業の契約者数・通園事業日数・在籍園児数・出席状況等の実績報告、給付費等の収入報告、施設全体に関わる事業報告を区に行っている。そのため、月末報告会で、各事業の月次実績の進捗管理を行うと共に、事業の振り返りや委員会の活動については、前期後期に分けて園長が確認している。一方で、「職員の業務改善」、「地域との交流」等について事業計画で述べられているが、事業報告にはなく、進捗管理方法の検討が期待される。		

		カテゴリー3													
3	経営における社会的責任														
		サブカテゴリー1(3-1)													
	社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	2/2												
	評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる	評点(○○)													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left; padding: 2px;">評価</th><th style="text-align: center; padding: 2px;">標準項目</th><th style="text-align: right; padding: 2px;"></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;">●あり ○なし</td><td style="padding: 2px;">1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる</td><td style="text-align: right; padding: 2px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td style="padding: 2px;">●あり ○なし</td><td style="padding: 2px;">2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。</td><td style="text-align: right; padding: 2px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当					
評価	標準項目														
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当													
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当													
	サブカテゴリー2(3-2)														
	利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4												
	評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている	評点(○○)													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left; padding: 2px;">評価</th><th style="text-align: center; padding: 2px;">標準項目</th><th style="text-align: right; padding: 2px;"></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;">●あり ○なし</td><td style="padding: 2px;">1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている</td><td style="text-align: right; padding: 2px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td style="padding: 2px;">●あり ○なし</td><td style="padding: 2px;">2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある</td><td style="text-align: right; padding: 2px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当					
評価	標準項目														
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当													
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当													
	評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている	評点(○○)													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left; padding: 2px;">評価</th><th style="text-align: center; padding: 2px;">標準項目</th><th style="text-align: right; padding: 2px;"></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;">●あり ○なし</td><td style="padding: 2px;">1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している</td><td style="text-align: right; padding: 2px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td style="padding: 2px;">●あり ○なし</td><td style="padding: 2px;">2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている</td><td style="text-align: right; padding: 2px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当					
評価	標準項目														
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当													
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当													
	サブカテゴリー3(3-3)														
	地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5												
	評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる	評点(○○)													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left; padding: 2px;">評価</th><th style="text-align: center; padding: 2px;">標準項目</th><th style="text-align: right; padding: 2px;"></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;">●あり ○なし</td><td style="padding: 2px;">1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる</td><td style="text-align: right; padding: 2px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td style="padding: 2px;">●あり ○なし</td><td style="padding: 2px;">2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している</td><td style="text-align: right; padding: 2px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当					
評価	標準項目														
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当													
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当													
	評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている	評点(○○○)													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left; padding: 2px;">評価</th><th style="text-align: center; padding: 2px;">標準項目</th><th style="text-align: right; padding: 2px;"></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;">●あり ○なし</td><td style="padding: 2px;">1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている</td><td style="text-align: right; padding: 2px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td style="padding: 2px;">●あり ○なし</td><td style="padding: 2px;">2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している</td><td style="text-align: right; padding: 2px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td style="padding: 2px;">●あり ○なし</td><td style="padding: 2px;">3. 地域ネットワーク内の共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる</td><td style="text-align: right; padding: 2px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内の共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当		
評価	標準項目														
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当													
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当													
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内の共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当													

### カテゴリー3の講評

倫理綱領、行動規範、児童発達支援ガイドライン等を学ぶ研修が年度初めに行われている

年度初めに、法人の入社式・始業式に統いて、施設毎の職員研修がある。研修は、事業の基本「児童福祉法に基づく障害児通所支援事業である」の他、倫理綱領、行動規範、個人の尊厳と虐待防止、苦情解決の窓口について説明がある。行動規範には、「ことば・態度・服装、権利擁護」の他、「個人情報保護、支援者としての専門的役割、職員間の連携」等について、具体的な行動の記述があり、児童発達支援が提供すべき支援内容を記した、「児童発達支援ガイドライン」についても学ぶなど、福祉サービス従事者としての規範遵守の取り組みが行われている。

虐待防止は職員の定期的行動自己チェック・研修と要保護児童の保護が重点になっている

苦情は苦情対応マニュアルに沿って対応し、日常の訴えは、受付者が内容を用紙に記述し、保護者が来園した時に対応を話している。虐待防止の取り組みは、施設内虐待防止のための職員の定期的自己行動チェック、研修、要保護児童の保護（身体・生活状況チェックと通報義務）を重点に行われている。園長は、「人権尊重と支援の関係、即ち、利用児の自主性と支援はぶつかる事が多く、並行通園児の家庭の事情は分からない面もある」ので、センターで利用者の情報を集約し、本人の状況を見ながら、次の支援を提案する、OJTで現場に入るなどに努めている。

センターでは並行通園児も多くなっており、更なる地域支援の取り組み強化が期待される

センターは、専門性を活かして「発達支援・家族支援・地域支援」に取り組んでいる。家族支援では、保護者が療育に参加する療育参加の他、保護者面接・保護者会等がある。地域支援では、「児童福祉に関わる機関との連携により知識・技能を広め・学び合う」を目的に、公開療育・事例研修会・ファミリーサポート等の地域に向けた研修及び講演活動に取り組んでいる。センターでは保育園・幼稚園に通う並行通園児が多くなっており、区の調査でも地域から発達支援でのアドバイスをセンターに期待する声が多く、更なる地域支援の取り組み強化が期待される。

カテゴリー4																			
4 リスクマネジメント	サブカテゴリー1(4-1)																		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5																	
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(○○○○○)																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(●あり ○なし</td><td>1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>(●あり ○なし</td><td>2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>(●あり ○なし</td><td>3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>(●あり ○なし</td><td>4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>(●あり ○なし</td><td>5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> </tbody> </table>		評価	標準項目		(●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当	(●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当	(●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当	(●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	(●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																		
(●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当																	
(●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当																	
(●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当																	
(●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当																	
(●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当																	
サブカテゴリー2(4-2)		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4																	
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(○○○○)																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(●あり ○なし</td><td>1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>(●あり ○なし</td><td>2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>(●あり ○なし</td><td>3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>(●あり ○なし</td><td>4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> </tbody> </table>		評価	標準項目		(●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当	(●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当	(●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当	(●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当			
評価	標準項目																		
(●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当																	
(●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当																	
(●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当																	
(●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当																	
カテゴリー4の講評																			
<p>ひやりハットは、報告の目安を定めクラス内で対応し金曜日の終礼で情報を共有している</p> <p>センターでは、実際に起こる可能性の高いリスクや被害の大きさを考慮して、委員会が対策を立て検討が必要な案件は、園長と話し合いをして決めている。ひやりハットは、報告の目安を7つ定め、クラス内で状況を見て対応し、毎週金曜日の終礼で情報を共有している。ひやりハット報告と事故報告は、集計と分析結果を事業報告書に掲げ、事故の未然防止・再発防止に取り組んでいる。新型コロナ対応では、並行通園児も多い事から感染経路の追及が難しく前年度休園を招いたが、センターは公設民営である事から、区の方針に従って事業所のルールを決めている。</p> <p>事業継続計画は、コロナウィルス感染症編と風水害・地震等の自然災害編を作成している</p> <p>災害対応は、非常災害対策計画を作成して、職員・利用児・保護者の行動計画を立て、「危機管理対応マニュアル」を作成すると共に、消防訓練と避難訓練をほぼ毎月実施している。健康管理面では、日常の健康チェック、けが・疾病時の対応、感染症対策を定め、室内・園庭・給食・排泄などの衛生管理についても必要なマニュアルを整備して対応している。事業継続計画(BCP)は、区からの指示を受けて、新型コロナウィルス感染症編と風水害・地震等の自然災害編を作成しているが、関係者の理解が重要で、具体的な行動計画について今後の課題としている。</p> <p>センターは、区の指定管理協定書・文書管理に沿って、委員会が日常管理を行っている</p> <p>区との指定管理協定書で、「文書管理規程を設け適正な管理を行う、個人情報保護の守秘義務、情報資産のセキュリティ対策」等が定められており、センターは、保有する運営情報・個人情報等の文書管理は、これを元に委員会が日常管理を行っている。事業に関する情報は、ネットワークを介した共通サーバーで情報共有が出来ており、個人情報及びケースファイル等は、鍵の掛かるキャビネットに保管している。個人情報は、個人情報保護方針に基づいた管理規程に則り行われており、職員とは守秘義務の契約を交わし、保護者には情報利用の同意書を得ている。</p>																			

カテゴリー5																		
5 職員と組織の能力向上																		
サブカテゴリー1(5-1)																		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	12/12															
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点(○○)																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(●)あり (○)なし</td> <td>1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>(●)あり (○)なし</td> <td>2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		(●)あり (○)なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当	(●)あり (○)なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当						
評価	標準項目																	
(●)あり (○)なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当																
(●)あり (○)なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当																
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点(○○)																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(●)あり (○)なし</td> <td>1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>(●)あり (○)なし</td> <td>2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		(●)あり (○)なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当	(●)あり (○)なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当						
評価	標準項目																	
(●)あり (○)なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当																
(●)あり (○)なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当																
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点(○○○○)																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(●)あり (○)なし</td> <td>1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>(●)あり (○)なし</td> <td>2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>(●)あり (○)なし</td> <td>3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>(●)あり (○)なし</td> <td>4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		(●)あり (○)なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当	(●)あり (○)なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当	(●)あり (○)なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当	(●)あり (○)なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																	
(●)あり (○)なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当																
(●)あり (○)なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当																
(●)あり (○)なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当																
(●)あり (○)なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当																
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点(○○○○)																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(●)あり (○)なし</td> <td>1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と待遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>(●)あり (○)なし</td> <td>2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>(●)あり (○)なし</td> <td>3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>(●)あり (○)なし</td> <td>4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		(●)あり (○)なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と待遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当	(●)あり (○)なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	(●)あり (○)なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	(●)あり (○)なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																	
(●)あり (○)なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と待遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当																
(●)あり (○)なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当																
(●)あり (○)なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当																
(●)あり (○)なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当																
サブカテゴリー2(5-2)																		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	3/3															
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる 評点(○○○)																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(●)あり (○)なし</td> <td>1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>(●)あり (○)なし</td> <td>2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>(●)あり (○)なし</td> <td>3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		(●)あり (○)なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当	(●)あり (○)なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当	(●)あり (○)なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当			
評価	標準項目																	
(●)あり (○)なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当																
(●)あり (○)なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当																
(●)あり (○)なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当																

	<p><b>カテゴリー5の講評</b></p> <p><b>実習生の受け入れ、研修による専門職員の確保に重点を置いて人材を募集している</b></p> <p>センターは、作業療法士・言語療法士等の専門職の確保に重点を置いて人材募集をしている。発達心理学等を専門とする機関・大学などの実習生を受け入れる他、1年間の研修期間を設けて発達支援を学びたい人を研修生として受け入れて採用に繋げている。採用に際しては、試験後に業務環境や職員との交流を深める採用前研修がある。資格によっては「経験を積まないと即戦力としては難しいが、門戸を拡げ資格保有者を採用する」ようにしている。人材配置は、事業により特性が違うので、管理職が資格及びキャリアを考慮して、何処に配属するかを決めている。</p> <p><b>人材育成は研修受講・専門職の技能育成、公開療育での発表機会等を通して行われている</b></p> <p>人材育成は、初任者研修、専門職の技能育成に大別される。初任者研修は、新規採用者が学習グループを編成して、心理学知識・障害の理解・指導技術について学び、経験者が新任者を指導するOJT教育がある。専門職の技能育成は、非常勤講師や嘱託医による内部研修、外部研修、職員に参加を呼び掛ける自主学習会で行われている。他機関主催の会議に代表者を参加させ、地域支援に繋がる支援者育成にも取り組んでいる。専門職の技能育成は、公開療育で発表する機会を与える。児童発達支援管理責任者の研修による資格取得の機会を設ける等で行われている。</p> <p><b>資格取得の機会を設けているが、職員からキャリアパスが理解できていないとの声もある</b></p> <p>職員の処遇は、前年度の勤務に対する態度や出勤・欠勤状況、研修参加の状況を総合的に勘案し、次年度の昇給を決定している。センターは、若年層の転職希望が増えている中、業務への意欲・関心を育てる為に、年度開始時に「業務に関する自己目標」に、出勤・配属業務・係業務・研修についての目標を記載してもらい、年度終了時に「業務に関する自己評価・希望調査」を実施している。センターは、児童発達支援管理責任者、相談支援専門員等の資格取得の研修機会を設けているが、職員からは職務に応じたキャリアパスが理解できていないとの声もある。</p>
--	---

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動		カテゴリー7		
		サブカテゴリー1(7-1)		
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている				
<b>評価項目1</b> 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)				
<b>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</b>				
<p>課題:「新型コロナ禍にも拘らず基本理念に基づいた事業運営を行う」      新型コロナの感染が拡大する状況下で、保健相談所等の紹介による利用希望児は多く、保護者のアンケート調査からも事業を継続する要望があり、センターは、「新型コロナ感染防止対策を講じ、安全・安心な児童発達支援センター事業を継続する」を目標に課題に取り組んでいる。      取り組みは、「①衛生管理備品の購入: 外気取入れ型エアコン・扇風機・非接触体温計・サーモカメラ等の設置と二酸化炭素モニターによる計測購入」、「②適切な支援の提供: アプリケーションを導入して、感染情報を速やかに職員及び保護者に配信すると共に、在宅時の子どもの状況を聞いて、個別の園児対応をする」を行った。      結果は、保護者の自主的な判断で欠席はあったが、児童発達支援センター事業の出席率は76%を確保できた。家族連絡用スマホアプリの導入は、利用者へのお知らせ、職員間の連絡手段になり速やかな連絡と業務改善に効果があった。      感染拡大防止策は有効に機能したが、対策実行段階で施設環境の悪さ、特にスペース面で課題があるとして、翌年度に向けて「施設移転の取り組み」を行うとしている。</p>				
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった			
	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていないかった(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である			
	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である			
<b>評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</b>				
<p>&lt;標語を選択した理由&gt;      新型コロナ感染状況下、課題に対して「感染防止策を講じて児童発達支援センター事業を継続する」を目標に取り組んでいる。目標に対しての2つの取り組みを行い、結果を検証している。取り組みを推進する過程で、スペース問題を痛感し、翌年度の計画に反映している。</p> <p>&lt;目標達成の状況&gt;      児童発達支援センター事業の1年間の出席率は、昨年並みを確保している。センターの利用者の中には、並行通園児が多いため関係部署が多岐に亘り、濃厚接触者も出席できない状況で、感染状況を追跡するのが難しかった。また、役所に出す書類が多く、相談部には変わらず多くの問い合わせが来ており、休みの日も入っている施設を開けてもらい、経営層と看護師で対応し事業継続に取り組んだ。職員・保護者共々、「日常のある事の大切さを痛感し、当たり前に生活できる事のありがたさを思った」。また、子ども達は、休みが長く続いたことで体調を崩す児が多いが、なんとか日常に戻せている。      課題と目標を設定して取り組んでいるが、今後は、期の半ば、期末などで、目標に対してどの程度進捗があるかを検証できる、即ち、PDC Aが回っているかを確認できる仕組みの検討が期待される。</p>				

## 評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

### 前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

#### 課題:「建屋・江東区障害者福祉センターの老朽化に伴う施設環境整備」

区はこども発達センターの新たな増設は、予算上不可能な見解を持っている。扇橋施設についてはスペースの狭さという問題を抱えており、大規模な改修を目標に課題に取り組む予定だったが、新たな移転先が決定したため、目標と取り組み内容を変更して対応している。

取り組みは、当初は施設の改修設計プランを区と協議しながら作成したが、移転が決まった後は、「①移転先の設計プラン・移転プラン作成を行う。②大幅な利用者の拡大は難しいので、地域支援力を育成し、地域機関と連携して支援に当たる」に、計画を変更した。

結果は、区と移転先での事業内容、療育室のレイアウト案等の討議を重ねた。地域支援力の向上に対しては、区のアンケート「今後の子どもも発達センターの事業に期待するもの」で、保育園・幼稚園に調査した結果を移転プランに入れる事とし、指定管理の区への提言でも、扇橋で新規に保育所等訪問支援事業を受託方針に掲げた。

区と協議をしながら、移転による施設整備の準備をしており、今後は、施設環境や事業内容拡大等について取り組むとしている。

目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていないかった(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

### 評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

#### <標語を選択した理由>

センターは、施設の老朽化及びスペース問題を抱えており、当初は、「施設改修は、今後の事業の進め方を考慮しながら区と話し合い、改修設計及び移転先の設計プラン・移転プラン作成を行う」としていたが、施設改修ではなく移転先が決まった上で、目標と取り組み内容を変えて課題に取り組んでいる。

#### <目標達成の状況>

目標が変わったため、達成状況の確認及び結果の検証はこれからになるが、利用希望者が増えている現状で、移転により療育スペースと定員の拡大が実現する見通しである。区の調査に加え保護者のアンケートでも、「並行通園先の幼稚園を訪問して欲しい」、「通園日を多くできるように、職員や場所等拡大して欲しい」、「子どもたちや先生がのびのびと過ごせるように、建物や内装にもっと力を入れて欲しい」等の声が多数寄せられており、移転が実現する上で、現在は塩浜CoCoが行っている保育所等訪問支援事業も可能になる等、更なる地域支援の向上に取り組む事が出来るとしている。

移転先での運営開始時期もほぼ決まり、センターは施設環境の整備や事業内容の拡大等の変化に対応する準備を進めており、通所が便利になる利用者が増えた。

## II サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリー1	
1 サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4
<b>評価項目1</b> 子どもや保護者等に対してサービスの情報を提供している		
	評点(○○○○)	
	評価	標準項目
(●あり ○なし	1. 子どもや保護者が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
(●あり ○なし	2. 子どもや保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	<input type="radio"/> 非該当
(●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
(●あり ○なし	4. 子どもや保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
<b>サブカテゴリー1の講評</b>		
事業所HPや区の情報誌(子育てハンドブック)を通して事業所情報を広く周知している 江東区こども発達扇橋センターは、言葉や社会性の発達に支援を必要とする乳幼児への専門的な早期療育を行うと共に、地域福祉事業との連携強化を図りながら事業を運営している。事業所情報はHPの他、区の情報誌、江東暮らしガイドや子育てガイドブック等で広く区内に周知され、発達過程における気になるこどもへの専門性の高い通園事業だけでなく、家族支援や相談支援・地域支援を提供する区の中核的な施設として紹介されている。コロナ禍の為、今年度はオンライン開催したが、毎年「公開療育」を実施し、療育場面の公開と講演会を行っている。		
行政や自立支援協議会、地域療育機関の連絡会を通して事業報告や連携強化に努めている 区の障害者支援課へは毎年、前年度の事業報告と、今年度の運営方針や課題と目標、地域支援の実情等をまとめた報告書を提出している。見学者の受け入れも今年度は通常に戻し、区内3か所の保健相談所や子供家庭支援センター、近隣の保育所や幼稚園にはパンフレットを配布し、自立支援協議会の児童部会、地域生活支援部会、権利擁護部会で施設の概要や現状報告を行っている。区内の通所事業連絡会・相談支援事業所連絡会・保健相談所連絡会等に職員を派遣し、事例検討会の企画や情報交換を行い地域ネットワークの強化を図っている。		
相談部を通じて利用希望者の情報整理や予約調整を行い、個別状況に応じて対応している 問い合わせや見学申し込みは、保健相談所を通して行われることが多いが、HP等を見て直接保護者から連絡を受けることもあり、まずは相談部門につなげて、相談の受付、面談調整を行っている。事前のパンフレット送付や初回面接を実施して概要を把握し、個別対応を図っている。近年増えてきた外国籍の希望者へは、翻訳機の活用や英語表記の追加、区内のボランティア団体に通訳の派遣要請を行うなど、できるだけすみやかな対応に努めている。令和6年9月に事業所移転が決定したこともあり、パンフレットの表記や内容を本格的に見直す計画を持っている。		

サブカテゴリー2																	
2 サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	7/7															
<b>評価項目1</b> サービスの開始にあたり子どもや保護者に説明し、同意を得ている <span style="float: right;">評点(○○○)</span>																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(●)あり ○なし</td> <td>1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を子どもや保護者の状況に応じて説明している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>(●)あり ○なし</td> <td>2. サービス内容や利用者負担金等について、子どもや保護者の同意を得るようにしている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>(●)あり ○なし</td> <td>3. サービスに関する説明の際に、子どもや保護者の意向を確認し、記録化している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		(●)あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を子どもや保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当	(●)あり ○なし	2. サービス内容や利用者負担金等について、子どもや保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	(●)あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、子どもや保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当			
評価	標準項目																
(●)あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を子どもや保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当															
(●)あり ○なし	2. サービス内容や利用者負担金等について、子どもや保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当															
(●)あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、子どもや保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当															
<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている <span style="float: right;">評点(○○○○)</span>																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(●)あり ○なし</td> <td>1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>(●)あり ○なし</td> <td>2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>(●)あり ○なし</td> <td>3. サービス利用前の生活をふまえた支援を行っている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>(●)あり ○なし</td> <td>4. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		(●)あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当	(●)あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当	(●)あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当	(●)あり ○なし	4. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																
(●)あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当															
(●)あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当															
(●)あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当															
(●)あり ○なし	4. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当															
<b>サブカテゴリー2の講評</b>																	
<b>サービス開始時は利用契約書や重要事項説明書を、読み合わせて丁寧に説明している</b> <p>サービスの開始にあたり、利用契約書と別紙、重要事項説明書を保護者と一緒に読み合わせて、基本的なルールの確認を行っている。費用負担に関しては具体的な説明で、十分な理解を得るように心がけている。災害時の避難場所に関する質問などもあるため、職員全員が迷わずに対応できるよう指導している。また、クラス単位のしおりを用意し、職員や行事紹介、クラス毎の取り決めについて周知している。新入園以外の保護者には年度初めに変更点を説明し、同意を得ている。外国籍の保護者向けの契約書作成や説明方法の検討は今後の課題となっている。</p>																	
<b>支援に必要な個別状況と保護者の要望は、独自の「ニーズ調査」で詳細に把握している</b> <p>入園前に、支援に必要な個別状況や「こうなってほしい」という保護者の希望を、「ニーズ調査」を実施し把握している。園独自の「ニーズ調査」は、現在の生活動作(食事・排泄・着脱・歯磨き等)や運動・言語・行動・情緒面の様子を、項目毎に頻度(頻繁:A・時々:B・少ない:C)を含めて選択し、保護者の要望の度合を記号化(重点:(●)・2次:(○)・するなど、書きやすいように工夫している。クラスによっては8枚に及ぶ調査表だがアセスメントとして、保護者と職員が一人一人の発達状況と課題を共有する方法として継続的に活用されている。</p>																	
<b>支援開始時は好きな遊びを優先して不安軽減に努め、終了時は移行先へ情報提供している</b> <p>年度初めは慣らし期間を設け、初回面接で聞き取った好きな遊具やよく知っている遊びから始めて、スタート時の不安を和らげるよう努めている。一日支援コースでは戸外活動を取り入れ、1日の生活の流れを視覚化して示し、見通しを持てるように工夫している。並行通園児も多く学校関係者へ、保育所等訪問支援や相談部門と情報を共有し、支援の一体性を高めようとしている。サービス終了時は移行先への報告書提出や移行会議へ参加して支援の継続性を保とうとしているが、学校関係者との連携体制は更に強化・改善の余地があると考えている。</p>																	

サブカテゴリー3																		
3 個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	11／11																
<b>評価項目1</b> 定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している <span style="float: right;">評点(○○○)</span>																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し、把握している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 子ども一人ひとりのニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 子ども一人ひとりのニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当			
評価	標準項目																	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当																
●あり ○なし	2. 子ども一人ひとりのニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当																
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当																
<b>評価項目2</b> 子どもや保護者の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している <span style="float: right;">評点(○○○○)</span>																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 計画は、子どもや保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 計画を子どもや保護者にわかりやすく説明し、同意を得ている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		●あり ○なし	1. 計画は、子どもや保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 計画を子どもや保護者にわかりやすく説明し、同意を得ている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもや保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当																
●あり ○なし	2. 計画を子どもや保護者にわかりやすく説明し、同意を得ている	<input type="radio"/> 非該当																
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	<input type="radio"/> 非該当																
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	<input type="radio"/> 非該当																
<b>評価項目3</b> 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している <span style="float: right;">評点(○○)</span>																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当						
評価	標準項目																	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当																
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当																
<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している <span style="float: right;">評点(○○)</span>																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		●あり ○なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当						
評価	標準項目																	
●あり ○なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当																
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当																
<b>サブカテゴリー3の講評</b>																		
<p>「健康の記録」や「おうちでの生活の様子」等、独自の書式で心身状況を把握している            アレルギー他、個別の状況に応じた配慮が特に必要な場合は、契約時に「特別な配慮事項の申請書」で、医療面での対応や文化・宗教上の要望を確認している。申し出に応じて、あらかじめ出来る限りの対応策を協議し、保護者の了解を得ている。年度初めには、「健康の記録」から、既往歴や服薬状況、かかりつけ医の情報を収集し、「おうちでの生活の様子」で、食事や睡眠、排泄や着脱等、普段の生活リズムと生活習慣を把握している。これらは、センター独自のアセスメント情報として、一括し、個別ファイルに保管して担当職員間で共有している。</p> <p>ニーズ調査を通じて個々の発達課題を保護者と共有し、個別支援計画に反映させている            ニーズ調査や「おうちでの生活の様子」からそれぞれの発達課題や保護者の要望を把握し、ニーズ調査の文言を活かして個別支援計画を作成している。ニーズ調査をアセスメントの出発点としており、保護者向けに記入見本を提示し、発達段階についての共通理解を図りながら具体的で達成が見込まれる目標を設定し、説明と同意を得ている。半年ごとにケース会議で担当職員が園長・主任・各リーダーや前任者等から指導を受けながら評価・報告書をまとめ計画を見直している。定期更新前でも行動変化や成長が認められれば、随時次の段階の目標を再設定している。</p> <p>朝・終礼や詳細な指導記録の他、アプリを導入し、情報管理の業務軽減策を模索している            年度初めは引き継ぎの為のケース会議を開き、朝・夕礼で申し送りと配慮事項を確認し、情報の共有化を図っている。また、ケースカンファレンスや巡回時のスーパーバイズを通して、個別計画に沿った支援の提供に努めている。サービス提供記録の他、集団療育指導、言語・認知指導における一人一人の様子は都度個別に記録し、共有している。今年度からは家庭連絡にアプリを導入し、速やかな連絡体制と業務の効率化に取り組んでいるものの、担当者数が増えた背景もあり、情報共有や計画作成業務の負担軽減が求められており、更なる業務改善が期待される。</p>																		

## サブカテゴリー5

5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6 / 6												
<b>評価項目1</b> 子どものプライバシー保護を徹底している 評点(○○○)															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(●あり ○なし</td> <td>1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、子どもや保護者の同意を得るようになっている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>(●あり ○なし</td> <td>2. 日常の支援の中で、子どものプライバシーに配慮した支援を行っている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>(●あり ○なし</td> <td>3. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		(●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、子どもや保護者の同意を得るようになっている	<input type="radio"/> 非該当	(●あり ○なし	2. 日常の支援の中で、子どものプライバシーに配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当	(●あり ○なし	3. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目														
(●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、子どもや保護者の同意を得るようになっている	<input type="radio"/> 非該当													
(●あり ○なし	2. 日常の支援の中で、子どものプライバシーに配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当													
(●あり ○なし	3. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当													
<b>評価項目2</b> サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している 評点(○○○)															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(●あり ○なし</td> <td>1. 日常の支援にあたっては、個人の意思を尊重している(子どもが「ノー」と言える機会を設けている)</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>(●あり ○なし</td> <td>2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>(●あり ○なし</td> <td>3. 施設内の子ども間の暴力・いじめ等が行われることのないよう組織的に予防・再発防止を徹底している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		(●あり ○なし	1. 日常の支援にあたっては、個人の意思を尊重している(子どもが「ノー」と言える機会を設けている)	<input type="radio"/> 非該当	(●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当	(●あり ○なし	3. 施設内の子ども間の暴力・いじめ等が行われることのないよう組織的に予防・再発防止を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目														
(●あり ○なし	1. 日常の支援にあたっては、個人の意思を尊重している(子どもが「ノー」と言える機会を設けている)	<input type="radio"/> 非該当													
(●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当													
(●あり ○なし	3. 施設内の子ども間の暴力・いじめ等が行われることのないよう組織的に予防・再発防止を徹底している	<input type="radio"/> 非該当													
<b>サブカテゴリー5の講評</b>															
<b>保護者との面談場所や聞き取り方を工夫し、プライバシーの保護に努めている</b> <p>個人情報の使用については、利用開始時に「個人情報使用同意書」に署名にて同意を得ている。他機関の見学や移行支援報告書など文書を他機関に提出する際は、その都度保護者に確認し、署名にての同意を徹底している。保護者との面談は2週間から1月に1回と多く行われているが、相談室が一か所しかない為廊下や遊戲室などを利用し行っている。広い部屋の隅に分かれ、声が漏れ聞こえないよう距離をとる、衝立を使用する、時間調整をする、状況によっては隣接の地区集会所を使用するなど、現状で可能な限りの配慮をし、プライバシーの保護に努めている。</p>															
<b>外国籍の利用者には言語への配慮等、個々の状況を考慮した支援を行っている</b> <p>センターの利用者は男児が多い中で、男性職員が少ない。そのような状況下で、排泄時や着替えの介助については、女児については同性介助を徹底している。また衝立を利用したり、トイレに行く際や着替えの際、第三者に見られないよう配慮している。文化や習慣などで特別な配慮が必要な場合は「申請書」によって配慮内容を確認し、対応している。センターでは多様な国籍の利用者がおり、通訳者を依頼したり翻訳機などを利用している。また、保護者との情報共有のための連絡アプリは日本語以外の言語にも対応可能となっている。</p>															
<b>発達段階での行動特性を理解し、子供同士のトラブルには迅速に対応している</b> <p>利用者は自我が成長していく時期であり、療育中にも拒否がみられることが多いが、本人の行動の意味を読み取り、励ます、褒める、少し長く見守る、ほかの提案をするなど本人とやり取りしながら支援を進めている。子供同士のトラブルは対人関係の実践の場と考えているが、トラブルが起ったときはすぐに職員が対応し、怪我があった場合は保健が確認し処理する。その上でクラス管理から保護者に報告している。このような怪我はひやりハットなどに記載し、まずクラス内で振り返り、次に週末に全体で話し合い、職員間で予防・再発防止に努めている。</p>															

## サブカテゴリー6

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリー毎の  
標準項目実施状況

5／5

## 評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

## 評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や子ども・保護者等からの意見や提案を反映するようしている	<input type="radio"/> 非該当

## サブカテゴリー6の講評

## 通園事業マニュアルを基本とし、各委員会で業務マニュアルを作成し支援に活かしている

提供しているサービスについては「通園事業のマニュアル」で基本事項や手順を示し、全国組織が発行しているハンドブックも参考にしている。実際のサービス提供内容については園長が巡回またはクラス補助時、ケース会議などの際に確認している。センターでは責任者及び委員(常勤職員は必ず所属)で構成される10の委員会を設置し、それぞれの委員会で各種マニュアル作成・見直しを行い、業務改善に取り組んでいる。例えば「サービス提供プロセス管理」委員会では「ニーズ調査」のフォーマットを見直すなど個別支援計画作成の効率化を図っている。

## 専門性の高い支援の実現のため、内外研修で支援業務を見直し、標準化に反映している

日々の個別支援の基となる療育マニュアルは、発達段階のステージごとに発達課題(ねらい、配慮点)、その他の課題が具体的に記載されており、専門性の高いものとなっている。センターは「子ども一人一人にとって何が優先課題等を考えて試行錯誤していくことが大切」とし細かい発達の読み取りには専門性が必要と考えている。「基本を大切にしながらも新しい知見を学ぶ療育スタイルの構築」を目指しており、専門性の高い支援の水準を保つため、学習会、内外部の研修の機会を多く設けている。研修で学んだことは業務の標準化に反映している。

## 職員から業務量が多いとの声が多く、データ管理の簡素化など業務効率化が期待される

センターでは業務改善の為毎年、児童発達支援ガイドラインに従っての利用者アンケート、職員面談を実施している。保護者からの要望は、隨時受け付けているが、「各種申請書」による申請、「あなたの声ボックス」への投書、保護者会、懇親会、面談時等、意見を聞く機会を設けている。「散髪が苦手で地域の理容院・美容院に連れて行くのが大変だ」との訴えには訪問美容を実施し、職員が援助し安全にヘアーカットができるように対応している。職員自己分析では業務量が多いとの声が多く、データ管理の簡素化など業務効率化で負担軽減が期待される。

## III サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

## サブカテゴリー4

サービスの実施項目	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	26 / 26																					
1 評価項目1 個別の支援計画に基づいて子ども一人ひとりの発達の状態に応じた支援を行っている	評点(○○○)																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 個別の支援計画に基づいた支援を行っている</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 子どもの特性に応じて、コミュニケーションのとり方を工夫している</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 関係機関(教育機関、福祉関係機関、医療機関等)と連携をとって、支援を行っている</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 個別の支援計画に基づいた支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 子どもの特性に応じて、コミュニケーションのとり方を工夫している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 関係機関(教育機関、福祉関係機関、医療機関等)と連携をとって、支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当									
評価	標準項目																						
●あり ○なし	1. 個別の支援計画に基づいた支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当																					
●あり ○なし	2. 子どもの特性に応じて、コミュニケーションのとり方を工夫している	<input type="radio"/> 非該当																					
●あり ○なし	3. 関係機関(教育機関、福祉関係機関、医療機関等)と連携をとって、支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当																					
評価項目1の講評																							
<p>クラス担任はニーズ調査や面談をもとに保護者の要望等を計画に盛り込み支援している センター独自の「療育支援ニーズ(要望)調査」で保護者に子どもの現在の様子とニーズ(要望)を半年ごとに尋ねている。保護者は、生活面・発達面・個別指導・面談についての要望を言葉で記入し、その優先度も○と△で示している。また、子どもの現在の様子では生活、運動、手指作業、言語理解、対人コミュニケーション等の項目ごとに発達段階に対応した子どもの状態を頻度で記入している。クラス担任はニーズ調査や面談をもとに保護者の要望や困りごとを計画に盛り込んで作成し、児童発達管理責任者等が確認し保護者に説明し支援している。</p> <p>職員は一斉指示が通じにくい子どもに近づきジェスチャーと声掛けを繰り返し伝えている コロナ禍で子ども達は活動制限を受け、実体験が少ない子どもが増えている。特に、言葉の発達に障害を抱え周囲の状況を読み取ることが苦手な子どもはコロナ禍での影響が大きいと感じている。職員は言葉の問題を抱え一斉指示が通じにくい子どもに近づき正面から帽子を見せてかぶる動作を示す等、ジェスチャーと声掛けを繰り返し伝えている。また、職員は療育前のミーティングで注意を要する子どもの状態を把握し、「爪むしりがある」子どもの行動に対しては、制止する言葉ではなく、他に興味が向くように促し子どもの興味や特性に応じた対応をしている。</p> <p>療育を必要とする子どもが地域で継続的な療育を受けられるよう移行先とも連携している センターでは療育を必要とする子どもが地域で継続的な療育を受けられるよう、希望する保護者に年度末や療育終了時に移行支援報告書や発達支援報告書を作成している。報告書にこれまでの子どもの状況や配慮の視点をまとめ、移行先である幼稚園、保育園や小学校に提出している。また、特別支援学校や特別支援学級・教室とは移行支援会議を開催し引継いでいる。コロナ禍で中止していた保育園や幼稚園等の関係機関の職員の療育見学を今年度は再開している。今後は就学先の小学校とも継続的な指導に繋がるよう報告書を通じて連携を図りたいと考えている。</p>																							
2 評価項目2 子どもが食事を楽しめるよう支援を行っている	評点(○○○○○○○)																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 食事時間が楽しいひとときとなるよう環境を整えている</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 子どもの状態やペースに合った食事となるよう、必要な支援(見守り、声かけ、食の形態や用具の工夫等)を行っている</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 子どもが安全に食事をとれるよう取り組みを行っている</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>4. 食物アレルギーや疾患等については、医師の指示に従い、対応している</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>5. 食についての関心を深めるための取り組みを行っている</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>6. 子どもの状況をふまえ家庭での食事について助言を行っている</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 食事時間が楽しいひとときとなるよう環境を整えている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 子どもの状態やペースに合った食事となるよう、必要な支援(見守り、声かけ、食の形態や用具の工夫等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 子どもが安全に食事をとれるよう取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	4. 食物アレルギーや疾患等については、医師の指示に従い、対応している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	5. 食についての関心を深めるための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	6. 子どもの状況をふまえ家庭での食事について助言を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																						
●あり ○なし	1. 食事時間が楽しいひとときとなるよう環境を整えている	<input type="radio"/> 非該当																					
●あり ○なし	2. 子どもの状態やペースに合った食事となるよう、必要な支援(見守り、声かけ、食の形態や用具の工夫等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当																					
●あり ○なし	3. 子どもが安全に食事をとれるよう取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当																					
●あり ○なし	4. 食物アレルギーや疾患等については、医師の指示に従い、対応している	<input type="radio"/> 非該当																					
●あり ○なし	5. 食についての関心を深めるための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当																					
●あり ○なし	6. 子どもの状況をふまえ家庭での食事について助言を行っている	<input type="radio"/> 非該当																					
評価項目2の講評																							
<p>子ども達は全員でいただきますをし、食事中はパーティション越しの会話を楽しんでいる 給食は低年齢児、一日支援、半日支援(午前)クラスで提供している。子ども達が席につくと職員は給食のメニューを紹介し、全員で「手をパッチャン、いただきます」をして食べ始めている。給食指導では「カップのみ、箸やスプーン等の使用、食べ方・量・形態、親子で食事場面を楽しむこと」を掲げ、職員は手で食べ始める子どもに「Aちゃん、スプーンでお願いしたいんですけど…」と促したり「B子ちゃん、お箸上手！」と声掛けをしている。子ども達はスプーンを持つと「先生、みてー」「すごーい」などパーティション越しに会話を楽しみ食事をしている。</p> <p>食物アレルギーには代替え食で対応し、宗教上の理由等でお弁当持参する子どももいる 利用にあたり保護者は「特別な配慮事項申請書」に給食への配慮の必要性についても記入している。食物アレルギーを含む特別な配慮事項について、朝礼で看護師や栄養士がその日の登園児について報告し、更に各クラスで直接対応する職員同士でチェック用紙で確認し事故防止に努めている。食物アレルギーに対しては代替え食で対応し、宗教上の理由などの場合はお弁当を持参する子どももいる。給食の時間はテーブルをパーティションで区切り、職員はフェイスガードを付けるなどの感染防止対策を講じ、子ども2人に職員1人がついて支援している。</p> <p>職員は食べ物の味や食感についても子どもの興味に繋がるよう働きかけている 給食場面で職員は子ども達に食材の名称だけではなく「お魚の皮、パリパリしてておいしそう」「カレー味、おいしかった？」など味や食感についても声かけをしている。子ども達は「皮、食べた」「皮、好き」と反応し、会話が食べ物の興味に繋がるよう働きかけている。また、歯科検診時にブラッシング指導を保護者に行ったり、家庭で食の進まない子どもに対し達成感を持てるよう小皿にとって食べることを助言している。今年度は職員対象に歯科医が食べる機能についての研修を実施したが、新人職員に対する摂食指導等の実践的研修の再開を考えている。</p>																							

## 3評価項目3

子ども一人ひとりの状況に応じて生活上で必要な支援を行っている

評点(○○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 身の回りのことは自分で行えるよう、必要な支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 基本的な生活習慣や社会生活上のルール等（あいさつ、マナー、交通ルール等）を身につけられるよう支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 集団活動を取り入れるなど、子どもの心身の発達や社会性が育つよう支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 一人ひとりの有する能力を活かせるよう個別のプログラムを実施している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	5. 送迎は、子どもと保護者等の状況に応じて送迎方法を検討し、行っている	<input type="radio"/> 非該当

## 評価項目3の講評

## 心理の専門職や作業療法士などの専門職もクラスを担当し個別指導を行っている

センターでは個別支援計画の個々の目標に合わせて、集団指導、個別指導、生活場面の指導に取り組んでいる。ニーズ調査や面談等で子どもの状況を把握し、一人ひとりの発達段階に応じて今必要なことを支援している。ニーズ票の「パンツ・ズボン・靴を脱ぐ」項目で、保護者は前期は時々行っていた子どもが後期には頻繁に行うと評価し子どもの成長を実感している。また個別指導は担当制で行う。心理の専門職や作業療法士、言語聴覚士等の専門職もクラスを専任・兼任する。子どもの発達に応じたプログラムで作業療法、理学療法、言語認知指導を行っている。

## 集団活動で、開始と終了の挨拶や活動と活動の間に椅子に座って待つ場面を設定している

活動の始まりと終わりには必ず挨拶をする場面を設定し、朝の支度（シール貼り、コップと歯ブラシを置く、名札をつける、靴下を脱ぐ、カバンをしまう）の場面でも生活スキルが身につくよう取り組んでいる。椅子に座る場面では、職員の膝に座ろうとする子どもに声かけや椅子に座るよう手を添えるなど工夫している。また、活動と活動の間に手を膝に置き椅子に座って待つ場面を設定することがある。活動の始点・終点をわかりやすくしたり、次の内容が期待を持てるよう工夫するなど個別に対応している。

## 各家庭の状況により移動支援やファミサポ等の利用も認めている

センターでは保護者が送迎をすることを基本としているが、各家庭の状況により移動支援やファミサポ等の利用も認めている。また利用者は希望により送迎バス（往復・雨の日のみ利用可）を利用することもできる。保護者等は子どもと一緒に送迎バスに同乗しクラス担任に引き継ぐこととしている。送迎対応が保護者以外の場合は、保護者記入の申請書をもとに施設への出入りを管理し、送迎時の情報交換の方針や面談の受け方は個別に対応している。また送迎バスは時間が決まっているため、半日支援コース（午前）の子どもは給食の時間に余裕がない場合もある。

## 4評価項目4

子どもの健康を維持するための支援を行っている

評点(○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの健康状態について、保護者や医療機関等から必要な情報を収集している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 子どもの状態に応じた健康管理を行い、体調変化に速やかに対応できる体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

## 評価項目4の講評

## 保護者から医療機関等での診察結果や子ども発育や、健康状態について聞き取っている

利用開始時に、保健相談所の健診や医療機関での診察結果、子ども発育や健康状態について保護者から聞き取り、アレルギーの有無、治療中の病気、医療機関名、使用薬、予防接種の実施状況、既往歴等を個別ケースファイルで管理している。嘱託医による小児科健診（月1回）、整形外科健診（年4回）、歯科健診（年3回）を実施し、健康状態の把握に努めている。一日支援の子どもの小児科健診は年2回を目標とする。対象児を決めて診療、医療相談をする。また、区内の歯科医院に嘱託医を依頼し、保護者へのブラッシング指導や治療に繋げている。

## 連絡アプリを導入し、保護者は登園前に子どもの健康状態や連絡事項等を入力している

今年度は家族連絡（アプリ）を導入し、保護者は登園前に子どもの健康状態（体温、睡眠時間、排泄、食事、連絡事項等）を入力し、センター内の管理、保健、クラス等の各部門で確認している。医療的ケアは保護者の責任に基づき行われることを原則とし、主治医の診断書及び意見書をもとに通園体制を整えている。現在、経口摂取も可能な経鼻栄養法の子どもを受け入れ、食形態で対応している。新型コロナウイルスへの対応は都・区の通知に沿って行い、センターとしての予防対応、感染者が発生した場合の対応を定め、子どもの受け入れ継続を目指している。

## 医療健康面で配慮を必要としている子どもの情報を毎日療育前の朝礼で確認している

職員は保護者からの「特別な配慮事項の申請書」で、医療健康面で配慮を必要としている子どもについて、その内容を毎日療育前の朝礼で確認し、療育中の事故予防に努めている。発作、発熱、アレルギー等の配慮事項を記載した危機管理表には配慮事項と対応方法を記載し、各クラスではクラス毎の一覧表を作成し対応できる体制を整えている。アナフィラキシーショックに対しては保護者からエピペンを子どもと一緒に預かり、薬は、登園時に「お薬連絡票」「緊急時お薬連絡票」で確認しお薬ボックスで保管し与薬対応マニュアルに沿って看護師が対応している。

5 評価項目5		
子どもの主体性を尊重し、施設での生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている		
評点(○○○)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常生活の支援は子どもの主体性を尊重して行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが安心して活動できるよう、状況に応じて室内の環境を工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの状況や希望に沿って、多様な体験ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目5の講評		
子どもの年齢や発達段階を考慮し、興味等も踏まえ主体的に関われる目標を設定している 自由遊びは子どもが自分で手にとって遊ぶ玩具、よく見ている本、よく行う行動から好みや興味を読み取る重要な時間と考えている。職員は登園する子どもに合わせて自由遊びの玩具の種類を入れ替えたり、年度内でも子どもの成長に応じて興味が広がる玩具や遊具を提供し体験が広がるよう工夫している。目標は子どもの年齢や発達段階を考慮し、好みや興味を踏まえ主体的に関われるよう設定している。職員を引っ張る等の子どもの要求行動から子どもの意向ややりたいことを尊重し、できる範囲で選択肢を示したり意思確認をする等丁寧なやり取りに努めている。		
物理的構造化により、子どもが先を見通せることで安心に繋がるよう環境設定をしている センターには低年齢児、一日支援コース(2クラス)、半日支援コース(午前、午後)の4室と遊戲室・相談室が各1室ある。子どもの発達段階を考慮し、物理的構造化(ベンチを用意すると座る等)によって何をするのかを子どもにわかりやすく伝えている。また、活動の予定を「長い針が5にならおしまいね」と子どもが視覚でも確認できるよう伝え、先を見通せることで安心に繋がるよう環境設定をしている。センターは利用者数の増加でスペースの確保が十分ではなく、保護者は来年度の移転で改善されることを期待している。		
コロナ禍で行事は縮小して感染防止を図り、希望者全員が体験できるよう実施している センターでは年間を通じて子どもが多様な体験ができるよう、誕生会、クリスマス会、運動会、遠足等の行事を行っている。年度初めに行事の年間スケジュールを配布して保護者への周知を図っている。コロナ禍での行事は縮小し数回に分けて感染防止を図り、希望者全員が体験できるよう実施している。運動会もグループごとに分けて遊戲室で保護者は各家庭1名に制限し行っている。また、季節に応じて水やドングリなどを取り入れたプログラムや子ども達が運動をしたり発散できるように公園、屋上プール等の屋外活動も積極的に実施している。		
6 評価項目6		
家族との交流・連携を図り支援を行っている		
評点(○○○○)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どものサービス提供時の様子や家庭での普段の様子を家族と情報交換し、支援に活かしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 家族の意見や要望を活かした支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 家族の状況に配慮し、相談対応や支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもや家族に合った療育方法等について助言している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目6の講評		
今年度は家族連絡(アプリ)を導入し、保護者とセンターで効率的に情報共有している センターは保護者からニーズ調査表、おうちでの生活の様子、保護者面談等で子どもの普段の様子や変化を聞き取り、個別支援計画の作成や日々の支援に活かしている。今年度は家族連絡(アプリ)を導入し、子どもの日々の健康状態や家庭での様子、センターでの様子や療育内容を保護者と効率的に共有できる体制を整えている。健康連絡帳(アプリ)は、日々の個別の連絡事項とともにおたより、献立表、コロナ感染状況等の配信に使用している。心配事や相談等については保護者面談で、保護者の就労状況によっては電話でも対応し要望を受け入れている。		
コロナ禍であっても療育を継続し、保護者支援、家庭支援に繋げたいと取り組んでいる コロナ禍で一時的に休園を余儀なくされたこともあったが、子どもたちにとっては「日常があること、当たり前の生活リズムで過ごすこと」の重要性を実感する機会ともなった。コロナ禍では子どもが通園できず仕事ができない家庭、親が感染した家庭、外国籍で情報が届かない家庭もあり、発達支援をする子どもが家庭で何日も過ごすことで保護者からSOSの発信も受けている。センターではコロナ禍であっても子どもが家庭で日常を取り戻し、情緒的な安定を得ることができるよう支援を継続し、保護者支援、家庭支援に繋げたいと取り組んでいる。		
今後は、子どもの発達支援の継続にむけ就学先との連携を図りたいと考えている 新型コロナウイルスの影響で縮小はしているが、通園部門ごとに懇談会、日曜療育参加時の懇談会等を通じて保護者のニーズや困りごとを把握し、必要な情報を提示し、アドバイスをしている。移動支援を利用する保護者には電話や療育時間外の対応もしている、就学にあたっては、特別支援学校、特別支援学級・教室に対しては保護者の了解を得て移行支援報告書を提出し、支援会議で引継ぎを行っている。保護者から「児童期は子どもは守られているが、学校は違う」との話もあり、今後は、子どもの発達支援の継続にむけ就学先との連携を図りたいと考えている。		

## 7評価項目7

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の情報を収集し、子どもの状況に応じて提供している	○非該当
●あり ○なし	2. 必要に応じて、子どもが地域の資源を利用し、多様な体験や交流ができるよう支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 地域全体の在宅障害児や関係機関等を対象に、施設・設備や人材・プログラムを有効に活用した支援を実施している	○非該当

## 評価項目7の講評

外国籍の子どもの利用が増え、区内のボランティア団体に通訳の派遣を依頼している

センターでは、保護者向けの講演会、子どもが参加できるイベント、遊びの教室等の地域の情報を積極的に収集し、掲示や案内もしている。また、区内で配布されている子育てハンドブック、児童発達支援・放課後等デイサービス事業所パンフレットを閲覧用に用意し必要な場合は渡している。近年は外国籍の子どもの利用が増え、区内のボランティア団体に通訳の派遣を依頼したり、契約時には区の観光通訳のボランティアの協力も得て対応している。年長児には就学先の情報として、小学校や特別支援学校とともに放課後等デイサービスの情報も伝えている。

親子で利用できる地域に新設された子どもプラザの情報を子どもや保護者に伝えている

区の図書館事業として派遣されるボランティアによるお話会を毎月行っている。お話会では読み聞かせ、ペーパーサート(紙人形劇)、パネルシアター、リクエストにも対応してもらい、低年齢児のクラスは親子で楽しんでいる。また、5月に完成した子どもプラザ(図書館)の紹介を兼ねて、親子で参加するお別れ遠足で利用している。参加した保護者からは図書館を親子で安心して利用することができ良かったとの感想も聞かれた。子どもプラザの情報は親子で利用できる地域の新たな公共の場として、センターを利用する子どもや保護者にも情報を伝えている。

地域の保育園の子どもとの交流保育の新たなあり方を検討したいと考えている

今年度は障害者福祉センターの行事「ふく福祭り」が3年ぶりに行われゲームコーナーや休憩室を提供している。子どもや保護者、地域の住民や子ども達にも施設を開放し、実習生がボランティアとしても参加している。また、長年、地域の保育園の子どもとの交流保育を行ってきたが、新型コロナ感染症の流行で現在は中止している。センターに通う子どもの多くが保育園、幼稚園と並行通園しているため今後の交流保育の新たなあり方を検討したいと考えている。コロナ禍で中止していた保育園等の職員の見学は再開し、並行通園先とは情報を共有し支援している。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
タイトル①	センターはリスクマネジメントの構築により施設の安全管理・危機管理に取り組んでいる	
内容①	<p>センターは事故防止に力を入れており、日常の療育でひやり・ハットした経験や誤った行為は、ひやり・ハット報告書で、外傷など何らかの害を子どもにもたらした事象は、事故報告書に記載している。毎週金曜日の終礼に、報告の目安を7つ定めたひやりハットの報告があり、職員は情報を共有している。年度末には、全部のひやりハットを部門別・内容別に、月次件数の集計をして全体の振り返りを行っている。事故については、全件数の概要と対応・結果に対して振り返りを行う等、リスクマネジメントの構築により施設の安全管理・危機管理に取り組んでいる。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-6	家族との交流・連携を図り支援を行っている
タイトル②	家族連絡(アプリ)で、子どもの健康状態や療育内容を保護者と効率的に共有している	
内容②	<p>今年度は家族連絡(アプリ)を導入し、子どもの日々の健康状態や家庭での様子、センターでの様子や療育内容を保護者と効率的に共有できる体制を整えている。健康連絡帳(アプリ)は、日々の個別の連絡事項とともにおたより、献立表、コロナ感染状況等の配信に使用している。アプリの導入で毎朝の保護者からの健康状態の情報はクラスだけではなく、管理、保健等の各部門でも共有できる新たな仕組みが整備された。言葉の問題等でアプリを使っていない保護者とは連絡帳でやり取りをし、心配事や相談等については保護者面談や電話で個別に対応している。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-5-2	サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している
タイトル③	外国籍の利用者には言語への配慮等、個々の状況を考慮した支援を行っている	
内容③	<p>近年アジア諸国の外国籍の利用者が増えており、日本語でのコミュニケーションが困難な保護者に対して、ボランティア団体に通訳の派遣を依頼したり、翻訳機を活用するなどし対応している。保護者との情報共有の連絡アプリは、日本語以外の言語にも対応できる為、保護者が理解できる言語でのやり取りが可能となっている。宗教上の理由で給食が食べられない利用者には弁当持参ができるなど、文化や宗教にも配慮している。利用時に配慮を希望する際は「特別な配慮事項の申請書」を提出してもらい、対応策を決めて個々の状況を考慮した支援を行っている。</p>	

No. 特に良いと思う点		
1	タイトル	独自の「ニーズ調査」を支援の要と位置づけて、一人一人の発達状況や課題を保護者と共有し、支援の方向性を定めるために有効活用している
	内容	センターでは、独自の「ニーズ調査」を、発達支援における専門的な療育の支援の要に据えている。「ニーズ調査」は、保護者と共にそれぞれの発達状況を確かめ、課題を共有できるように、選択肢のチェックや優先度合いを記号化して書きやすいように工夫している。また、半年毎の見直しは、頻度に注目する等、丁寧に振り返りを行い、成長過程が保護者にも分かり易く見て取れるような様式になっている。「おうちでの生活の様子」や「健康記録」と併せて「ニーズ調査」をアセスメントの出発点に位置づけ、個別支援計画に連動させ、継続的に活用している。
2	タイトル	認知、言語コミュニケーション等の療育にあたって心理士や作業療法士等の専門職もクラスを担当し、専門性を生かした個別指導を行っている
	内容	センターでは個別支援計画の個々の目標に合わせ、集団指導、個別指導、生活場面の指導に取り組んでいる。ニーズ調査や面談等で子どもの状況を把握し、一人ひとりの発達段階に応じて今必要なことを支援している。センターは認知発達で積み上げてきた理論と知識をベースにした療育を行っているが、マニュアル化は療育の質を担保することが難しいと考えている。特に、認知、言語コミュニケーションの療育は心理士や作業療法士、言語聴覚士などの専門性が求められ、センターではこれらの専門職もクラスを担当しより専門性を生かした個別指導を行っている。
3	タイトル	職員は子どもの行動や気持ちを言葉にして受け止め、子どもの興味や関心を引き出す語りかけに繋げることで、子どもの自主性を支援している
	内容	職員は食べたいけど泣いてぐずる子、苦手な人参を口に運べない子、デザートの果物を食べたい子、手で食べかける子、それぞれに対応している。「お終いにして帰りたい」でも「ご飯が食べたい」、人参を小さくし「赤ちゃん人参食べる？」「あと一口だよ」、「みかんのいい匂いするね」「先生も食べたいな～」、「Aちゃんお箸上手！」と子どもの行動や気持ちを言葉にしている。職員の言葉「B君すごい！」「あと少しじゃない」に、空になったお皿を見せ「やったー」とガッツポーズを見せる等、子どもの興味や関心、自主性を引き出す語りかけをしている。
No. さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	事業計画で「職員の業務改善」「地域との交流」を計画しているが、事業報告には記載がなく、両施策の進捗管理と検証を行う事が期待される
	内容	事業計画で「職員の業務改善」「地域との交流」を計画しているが、事業報告には計画に対しての振り返りが見られない。職員からは、「アプリケーションの導入で一部の業務が軽減された」「業務量を改善しないと人材の定着は見込めないと思われる」「人材不足、業務量が膨大」との声がある。地域との交流では、並行通園児が多くなっており、区の調査でも地域から発達支援でのアドバイスをセンターに期待する等、地域支援に期待する声が多く寄せられている。両項目ともセンターは重要課題と認識しており、施策の進捗管理・検証を検討する事が期待される。
2	タイトル	並行通園先の保育園や幼稚園への職員の訪問等を増やすなど情報共有や連携強化で、並行通園している保護者の安心に繋がることを期待したい
	内容	長年、センターでは地域の保育園の子どもとの交流保育を積極的に行ってきたが、新型コロナの流行で中止している。最近は保育園や幼稚園と並行通園している子どもが増加しており、今後の交流保育のあり方を検討する必要があると考えている。コロナ禍で中止していた保育園等の職員の見学を再開し、並行通園先とは情報を共有し支援している。しかし、並行通園している子どもの保護者はもっと多くセンターへ通わせたいとの要望が強くある。並行通園先の保育園や幼稚園との情報共有や連携により保護者が安心できる並行通園先との更なる連携を期待したい。
3	タイトル	保護者に対し子どもの就学に関する情報提供とともに、特に普通学級の小学校とは、より丁寧な引継ぎで継続的な指導を期待したい
	内容	就学にあたっては、特別支援学校、特別支援学級・教室に対しては保護者の了解を得て移行支援報告書を提出し、支援会議で引継ぎを行っている。また、普通学級の場合は保護者の要望で就学支援シートや発達支援報告書を作成し保護者を通じて就学先に提出している。しかし、保護者からは「幼児期は子どもは守られているが、学校は違う」との話もあり、就学先との引継ぎを丁寧に行う重要性を感じている。言葉による一斉指示や離れた場所からの指示の伝わりにくさを抱える子ども達が、より丁寧な引継ぎで就学先でも継続的な指導に繋がることを期待したい。